

宮城県感染症発生動向調査情報(第28週)

宮城県【平成25年07月19日】発行
宮城県保健環境センター
TEL (022)257-7228

- 2013.7.8 ~ 7.14 ・ 第28週 -

上段は患者発生数、下段は定点当り

疾病	保健所								仙台市				患者数	累計	宮城県(含む仙台市)			
	仙南	塩釜	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼	患者数	患者数	累計	第25週	第26週			第27週	第28週		
水痘	7 1.40	5 0.50	2 0.40	8 4.00	8 2.67	1 1.00	2 1.00	35 1.35	72 1.24	2,246	◎→	◎→	◎→	◎				
流行性耳下腺炎	1 0.20	6 0.60	2 0.40		1 0.33	3 0.60	8 4.00	18 0.69	39 0.67	648	→	○→	レ→	○				
百日咳								1 0.04	1 0.02	11	→	→	→					
感染性胃腸炎	20 4.00	15 1.50	17 3.40	12 6.00	11 3.67	19 3.80	3 1.50	93 3.58	190 3.28	11,246	◎→	◎→	◎→	◎				
手足口病	6 1.20	10 1.00		2 1.00	1 0.33	7 1.40	1 0.50	48 1.85	75 1.29	418	○→	○→	○→	○				
伝染性紅斑		1 0.10					1 0.50	18 0.69	20 0.34	359	レ→	→	→					
突発性発しん	2 0.40	8 0.80	5 1.00	2 1.00	2 0.67		3 1.50	15 0.58	37 0.64	1,023	レ→	○→	○→	○				
ヘルパンギーナ	1 0.20	15 1.50	2 0.40	15 7.50	16 5.33	17 3.40		22 0.85	88 1.52	340	○→	○→	◎→	◎				
インフルエンザ											→	→	→					
咽頭結膜熱	6 1.20		1 0.20	2 1.00		4 0.80		16 0.62	29 0.50	540	○→	○→	○→	○				
流行性角結膜炎		1 0.33	2 2.00			1 1.00		5 0.83	9 0.75	94	→	→	→					
急性出血性結膜炎			2 2.00					2 0.17	12	12	→	→	→					
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	13 2.60	15 1.50	2 0.40	1 0.50	4 1.33	21 4.20		34 1.31	90 1.55	3,192	◎→	◎→	◎→	◎				
細菌性髄膜炎(真菌性を含む)											→	→	→					
無菌性髄膜炎											→	→	→					
マイコプラズマ肺炎			6 6.00			1 1.00	8 8.00	4 0.80	19 1.58	561	→	○→	○→	レ				
クラミア肺炎(オウム病は除く)											→	→	→					
RSウイルス感染症		7 0.70						10 0.38	17 0.29	286	→	→	→					
拡張疾病	マイコプラズマ肺炎(小児科)		3	5				2	2		：流行の変化について、今後の情報に十分注意 ：発生または流行について、今後の情報に留意 し：発生が少なくなっている傾向							
川崎病								1	1		【週報の詳報】宮城県保健環境センターのホームページをご覧ください。 http://www.ihe.pref.miyagi.jp/~kansen-center/							
不明発疹症								1	5									

今週の全数報告疾病

*男児、女児は6歳未満

- 1類感染症: 報告なし
- 2類感染症: 結核
 - 大崎管内 男性1名
 - 栗原管内 男性1名
 - 石巻管内 女性1名
 - 仙台管内 男性1名(第27週)、女性1名
- 3類感染症: 腸管出血性大腸菌(O26)
 - 大崎管内 女性2名
 - 腸管出血性大腸菌(O157)
 - 大崎管内 男性1名
 - 仙台管内 女性2名(関連)
- 4類感染症: レジオネラ症
 - 仙台管内 男性3名
- 5類感染症: アメーバ赤痢
 - 塩釜管内 男性1名
 - 劇症型溶血性レンサ球菌感染症
 - 仙台管内 男性1名
 - 侵襲性肺炎球菌感染症
 - 大崎管内 *男児1名
 - 梅毒
 - 塩釜管内 女性1名
 - 風しん
 - 石巻管内 男性1名(検査診断例)
 - 仙台管内 男性1名(検査診断例)、女性1名(臨床診断例)
 - 女性2名(検査診断例)

今週のインフルエンザによる入院患者報告(仙台市を含む基幹定点報告) 0例

今週の感染症のコメント

—宮城県感染症対策委員会情報解析部会—

- 【ヘルパンギーナ】
栗原管内で警報継続中。
- 【急性出血性結膜炎】
大崎管内で警報値を超えた。
- 【水痘】
栗原管内で注意報値を超えた。
- 【流行性耳下腺炎】
気仙沼管内で注意報値を超えた。
- 【風しん】
今週あらたに5例の報告があり、2013年の累積報告数は93例となった。

【病原体検出情報】

～仙台医療センターウイルスセンター～

	第26週採取分 (6.24～6.30)	第27週採取分 (7.1～7.7)	第28週採取分 (7.8～7.14)
インフルエンザA型	2件	1件	0件
インフルエンザB型	6件	1件	0件
RSウイルス	4件	0件	1件
アデノウイルス	1件	0件	3件
エンテロウイルス	0件	0件	1件
サイトメガロウイルス	1件	0件	0件

インフルエンザ定点は、内科定点と小児科定点を合わせたもので、県全体で93定点です。宮城県:51定点 仙台市:42定点 合 計:93定点

インフルエンザ関連情報 (患者報告年齢群別割合)

報告週	0～4歳 (%)	5～9歳 (%)	10～14歳 (%)	15～19歳 (%)	20～29歳 (%)	30～39歳 (%)	40～49歳 (%)	50～59歳 (%)	60～69歳 (%)	70～79歳 (%)	80歳～ (%)	総数 (人)
2013年 第26週	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1
第27週	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2
第28週	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0

定点把握の対象となる5類感染症(全国 2013年第26週) (国立感染症研究所感染症情報センターホームページより抜粋)

インフルエンザ: 定点当たり報告数は第18週以降減少が続いている。都道府県別では沖縄県(4.69)、岐阜県(0.47)、熊本県(0.33)が多い。**RSウイルス感染症:** 報告数は436例と2週連続で増加した。年齢別では1歳以下の報告数が全体の約78%を占めている。**咽頭結膜熱:** 定点当たり報告数は減少した。佐賀県(2.35)、広島県(1.25)、福岡県(1.15)が多い。**A群溶血性レンサ球菌咽頭炎:** 定点当たり報告数は2週連続で減少した。鳥取県(3.42)、長野県(3.17)、福井県(3.05)が多い。**感染性胃腸炎:** 定点当たり報告数は第21週以降減少が続いている。大分県(9.28)、宮崎県(8.50)、茨城県(6.92)が多い。**水痘:** 定点当たり報告数は2週連続で減少した。岩手県(1.83)、熊本県(1.64)、福島県(1.62)が多い。**手足口病:** 定点当たり報告数は第19週以降増加が続いている。佐賀県(12.30)、大分県(12.22)、熊本県(10.74)が多い。**伝染性紅斑:** 定点当たり報告数は2週連続で減少した。富山県(0.83)、新潟県(0.67)、宮城県(0.26)、千葉県(0.26)が多い。**百日咳:** 定点当たり報告数は増加した。沖縄県(0.09)、秋田県(0.06)、福井県(0.05)が多い。**ヘルパンギーナ:** 定点当たり報告数は第19週以降増加が続いている。佐賀県(4.30)、熊本県(3.90)、徳島県(3.78)が多い。**流行性耳下腺炎:** 定点当たり報告数は減少した。福井県(1.36)、福岡県(0.78)、佐賀県(0.74)が多い。**マイコプラズマ肺炎:** 定点当たり報告数は2週連続で減少した。青森県(2.33)、沖縄県(2.14)、宮城県(2.08)が多い。